

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名:こどもサポートセンターあさひが丘 児童発達支援ルウ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		運動遊びなど、身体を大きく動かすプログラムでは園庭や会議室等を使用しています。	引き続き、おさまの実態や活動内容に応じた活動スペースの確保を行います。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		一日のスケジュール等も視覚支援カード(イラスト)を使用し、おさまにとって分かりやすい環境設定を心がけております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			引き続き、安全に過ごせるよう環境づくりに努めます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		本アンケートを通して把握したことについて、事業所内で情報を共有し、改善できることから速やかに取り組みます。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		園内研修や他部署との職員交流を通して、職員の育成や質の向上に努めています。	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		おさまの状態や要望等、聞き取りを丁寧に行い、個別支援作成会議時に職員間で意見交換を行っています。また、専門職の意見なども参考にして作成しています。		
11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			新版K式発達検査2020や絵画語彙発達検査などのアセスメントツールを活用し、個別支援計画にも反映しています。	
12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画作成時には、ガイドラインの内容についても確認しながら作成しています。		
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画に加え、公認心理師などの専門職のアドバイスも参考にして支援を行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		当月のプログラムは前月の内に職員間でミーティングを行い、活動内容の立案を行っております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月や季節ごとに活動のテーマを変えて取り組んでおり、また、同じ活動でも内容に変化を加えるなどおさまが楽しく活動に取り組めるよう工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ミーティングで活動内容や利用者特記、その日の注意事項を共有して、共通理解を図った上で支援しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育後はミーティングの機会を設け、気づいたこと、改善点等を共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		おさまの活動の様子等について、具体的に日誌に残し、支援に活かせるようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			現在、当事業所におきましては対象となるお子さまはいませんが、必要に応じて対応致します。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		かごしま北ネット(年長児と受け入れ学校との引き継ぎ会)の参加や、移行支援シートの作成を行い、情報の共有を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		公開療育等で他事業所の様子を見学し、学んでいます。また、年2回、他事業所や幼稚園、保育所等へ案内を出し、関係機関研修会を開催し、職員の交流や学びの場を提供しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		保育園、幼稚園に通園したり、児童養護施設に入所しているお子さまは普段から障害がない子どもたちと関わっています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		理事長がこども部会の委員であり、協議会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳アプリを活用し、その日の様子や気になること等を保護者の方に共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者向けのペアレント・プログラムを今年度は6月～7月に実施しています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別支援計画には、ガイドラインに基づく項目を記載しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の引継ぎ以外で、面談の希望があった際には個別面談の機会を設けるようにしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申入れに対して、連絡帳アプリも活用しながら迅速に対応できるよう心掛けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		おたよりを毎月発行し、療育の様子等、情報発信を行っております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約時に写真名前掲載同意書に署名を頂き、同意を得た方のみホームページやおたよりに掲載しています。また、年度ごとに同意書は頂いています。	引き続き、個人情報の取り扱いには、十分留意対応します。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて視覚支援を活用するなど、意思疎通を図る為の工夫をしています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人として秋まつりやワークショップ、あおぞら市の実施を行っています。当事業所内では駄菓子屋の開店、体操教室、高齢者向けサロンなど地域住民を招いた事業を行っています。また、地域の班会、祭りなどで館内を活用してもらうこともあります。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			緊急時を想定したマニュアル(災害対策、不審者対応、健康管理などに関するもの)を策定し、保護者の方にも閲覧できるように準備いたします。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1度地震、火災等を想定した避難訓練を行っています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年、虐待防止についての研修を行うとともに全職員を対象に人権侵害防止に関する書類への署名等、虐待に向けた意識向上の為に取り組みを行っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)